



謹賀新年



会派の提言が実現！ インバウンド対策を強化

2026年も美しく安全な街・渋谷を目指します



ポイ捨てに過料徴収 繁華街のごみ箱設置を義務化

令和7年第4回定例会では、我が会派が提言してきた「きれいなまち渋谷をみんなでつくる条例」の改正が議決されました。本改正により区内全域で、ごみのポイ捨てについても路上喫煙と同様に過料が科されることとなります。また、特にポイ捨てごみの多い渋谷・原宿・恵比寿駅の半径500m区域においては、飲食料販売事業者にごみ回収容器の設置を義務付け、設置や適正な管理が行われない場合は5万円以下の過料に処されます。

公的ごみ箱の設置については、現在渋谷クラスにおいて、ITスマート「み箱」[SmaGo]が運用されていますが、実証実験の結果を踏まえながら整備、推進を提言しました。

民泊規制を家主居住型等に厳格化 地域の住環境を守ります

昨今急増する民泊では、ごみ出しや騒音等、

周辺住民とのトラブルが発生しています。住居専用・住居地域では「家主居住型」や「届出者が近隣在住」の場合のみ認める等規制を厳しくする形で条例改正を提言し、本年第1回定例会での改正に向けて準備する方針が示されました。

宿泊税の一部を区の財源に活用するように 都に意見書を提出

本区を訪れる外国人旅行者は増え続けていますが、その対策には年間数億円規模でコストが生じています。これに対し、我が会派が主導し「オーバーツーリズム対策のための宿泊税の見直しと特別区への対策費支援を都に求める意見書」を提出しました。これは東京都が検討中の宿泊税引き上げの際、その収益を区のインバウンド対策費として分配するよう求めるものです。

渋谷区議会自由民主党・無所属議員団は、2026年も美しく安全な街・渋谷を目指し区民の視点に立った区政の推進のため、議員団一同全力で取り組んでまいります。



※「SmaGo」は太陽光発電・蓄電機能を備え、たまったゴミを約1/5に自動圧縮するとともに、通信機能によりゴミの集積状況を把握して効率的なごみの回収作業を可能にするごみ箱

我が会派の要望により実現！

エアコン購入・設置費助成が始まります

昨年観測史上最も暑い夏となり、9月まで続く猛暑は生命の危機にも直結する状況です。東京都では満65歳以上の高齢者や障がい者手帳をお持ちの方の世帯を対象にエアコン購入・設置費用を最大8万円補助する制度が昨年8月にスタートしています。こうした状況を踏まえ我が会派は「熱中症対策としてのエアコン購入・設置費用助成を求める要望書」を提出し、地球温暖化対策にも繋がるよう環境性能の高いエアコンを対象とすることも要望しました。その結果、昨年第4回定例会では一般会計補正予算に2707万4千円が計上されました。



区長に要望書を手渡す議員団

対象は住民税非課税世帯、ひとり親世帯の児童扶養手当受給世帯、65歳以上の一人暮らし世帯、65歳以上のみで構成される年間所得135万円以下の世帯で、エアコンを所有されていない世帯等となる予定です。助成額は1世帯あたり設置費用込みで最大10万円、都の8万円の助成と併用可能で本年2月より申請受付が始まります。

我が会派は引き続き、厳しい暑さを見据えた熱中症対策に取り組んでまいります。